



園長便りひがし

令和6年10月8日
宮崎ひがし幼稚園
文責園長 花宮 伸利

「食育」 ウィナーで動物を作ろう

ひがし幼稚園では自園給食で毎日おいしい給食をいただいています。現在、健やかな体を育む教育の推進として、食育の充実が叫ばれています。本園では今年も日本ハムさんの出前授業をお願いして、ウィナーをハート、ウサギ、キノコ、クワガタなどの飾り切りに挑戦し、食に関する興味関心を高めました。みんなできあがったウィナーを見てニコニコ顔でした。



ペットボトルキャップ回収

宮崎東幼稚園 御中

ワクチン約 12.5人分(25.0kg)

令和6年9月26日に届けられたペットボトル(飲料水)のキャップは、上記の通りです。

キャップ(約9,600個)はリサイクルされ、対価は世界の子どもたちにワクチンを日本製食品を通して作りワクチン購入に充てられます。

★ワクチンは、免疫過剰の子供たちへ贈られます★

一斉贈呈ございました。今後とも、どうぞよろしくお願ひいたしますー

世界には約4,000人の命に代わらぬ子どもたちががりがり(ひがまひ)やほか、後遺症などで亡くなっています。病気が治った命のワクチン瓶のキャップを回収すれば、11歳の子供にワクチンが届けられます。

キャップでエコネット
有限会社 クリーン日向

〒883-0034 日向市大字山崎5961-1 TEL (0982)363-0109 FAX (0982)327-0130
http://www.detai.net.co.jp/

1日4,000人、時間にして20秒に1人の赤ちゃんや子どもがワクチンがないために命を落としています。世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)は、こうした子どもたちにワクチンを届け、子どもたちの未来を守る活動「子どもワクチン支援」を行っています。

宮崎ひがし幼稚園でもこの趣旨に賛同して、皆様に呼びかけをして回収したペットボトルキャップをクリーン日向に持っていきました。皆様のご協力のおかげでワクチン12.5人分になりました。本当にありがとうございました。しかし、子どもの命を脅かす感染症は、いまだに開発途上国の大きな脅威となっています。今後もこの活動を地道に続けていきたいと考えています。ご協力をよろしくお願い致します。

【しつけ三原則】

二 親に呼ばれたら必ず「ハイ」と返事をする

名前を呼ばれたら、その相手に向かって必ず「ハイ」と返事をします。ここで大事なことは、できるだけ「大きな声でハッキリ」と、「すぐに」返事をする事です。返事が蚊の鳴くような声やのんびりした返事はダメです。できれば何度もやり直しをして、立派にできたら「素晴らしい」と手をパチパチとたたいて、できるだけ大げさにほめてあげます。この返事のしつけは、毎日生活の中で何度も体験することができます。例えば自動車に乗った時に返事の練習をします。「〇〇さん」「ハイ」「声が小さいです。もう一度やり直しします」「〇〇さん」「ハイ」「オ～、素晴らしいよくできました。」パチパチと拍手をして、大げさにほめてあげます。何度もやっていると、子どもの方から「もう一度やって」と言い出し、いつの間にか親子の楽しい「しつけ」の時間になります。

この「ハイという返事」は、誠に不思議な魔法の言葉だと思えます。なぜならば、「ハイという返事」は、どんな人でも等しく「素直な心」を心の内から必ず引き出し、さらに育ててくれるからです。

